



随筆

第60回

人の動き

市長 明智 忠直

私がこの「広報あさひ」で毎月注目しているコーナーが二つあります。一つは、15日号の最終ページ「データシート・人のうごき」です。8月15日号を見ますと、旭市の人口が前月に比べ60人の増。出生者も59人と多く、転入者も転出者を50人ほど上回りました。人口減少が確実に進んでいる中、たとえば一か月の集計でも人口が増えたことは大変な喜びを感じます。やはり旭市は住みやすい環境なのだと

再認識しました。私の大きな目標であり政策でもある「人口減少に歯止めを」が、市民の理解と協力の下に浸透してきているのかと、自分なりに納得をしたところでありました。

少子化対策、雇用の確保、教育・子育て環境の充実、産業・観光振興など……。これからも最大限の努力をしていくことは当たり前ですが、市民一体となつて方向性を理解、共有していかなければ空振りに終わります。

す。皆で知恵を出し合い、元気のあるまちづくりを目指していきたいものです。そんな意味で、8月6日と7日の「旭市七夕市民まつり」は、大変な盛り上がりになったと思います。会場は本当に人、人の山。市民一人一人の60回記念の七夕市民まつりを「盛り上げよう」「楽しもう」という思いを感じました。

二つ目も同じく15日号の最終ページから。「ピックアップキラーあさひ人」です。人物紹介コーナーで、描かれているのはそれぞれが研究を重ねたり、追求したりする姿など。その情熱と思いが伝わって、まさにけりと光る存在であります。これからも、多くのキラリあさひ人を発掘してほしいと思います。